



新年明けましておめでとうございます。

本年も、村民の皆様が心豊かに学び、明るく楽しく生きがいを持って過ごせるよう生涯学習事業の企画運営を行ってまいりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

公民館まつり開催のお知らせ



新型コロナウイルス感染症の影響により、例年同様の開催はできませんが、感染防止対策を講じた上で令和3年1月30日（土曜日）から2月4日（木曜日）の6日間日程で第56回公民館まつりを下記のとおり留寿都村公民館にて開催します。

日時：1月30日（土曜日）～2月4日（木曜日） 6日間
午前10時～午後5時

内容：総合作品展、公民館図書室廃棄図書の無料配布
※例年実施しています、芸能発表会、百人一首カルタ大会、売店、留寿都高校の花き販売会は実施しません。
みなさまのお越しをお待ちしております！

成人式延期のお知らせ

1月10日（日曜日）に開催を予定していた令和3年留寿都村成人式については、政府において、12月28日から1月11日まで、GoToトラベルを全国一斉停止すると判断されたこと及び近隣自治体での発症状況を踏まえ、開催を令和3年5月の連休期間中に延期することといたしました。

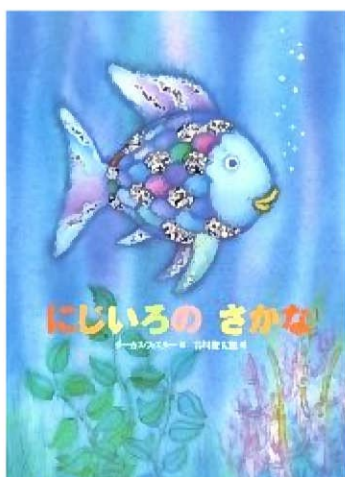
式典へのご出席を楽しみにされていた新成人及びご家族の皆様、また、関係者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

家読のすすめ ⑦

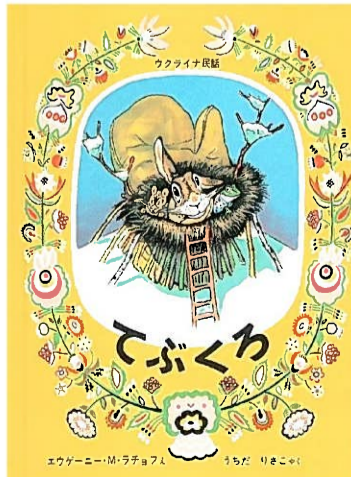
家読（うちどく）とは、「家族ふれあい読書」を意味し、家庭で読書の習慣を共有し、「家族みんなで読書することでコミュニケーションを深める」ことを目的にしております。

読み聞かせは、子どもの心を豊かにすると同時に、大人（保護者）と子どもの心を繋ぐ大切な触れ合いの場でもあります。そのため、まず大人が絵本に触れて、絵本を楽しむことが一番です。

今回は絵本を2冊紹介します。2冊とも公民館図書室にありますので、ぜひ読んでみてください！



★『にじいろのさかな』
作 マーカス・フィスター
訳 谷川 俊太郎
にじいろに輝くうろこをもった、世界で一番美しいさかな。でも、ひとりぽっちでさみしい。ある日彼は、かしこいタコに相談に行くことにしましたが・・・。



★『てぶくろ』
絵 エウゲーニ・M・ラチョフ
訳 内田 莉莎子
おじいさんが森の中で手袋を片方落としてしまします。雪の上に落ちていた手袋にネズミが住み込みました。そこへ、カエルやウサギ、キツネが次々にやってきて、「私もいれて」「ぼくもいれて」と仲間入り。手袋はその度に少しずつ大きくなっていき、今にもはじけそう・・・。

家庭教育事業「自然の美味しい手作り味噌に挑戦」を実施しました！

12月3日（木曜日）、4日（金曜日）に家庭教育事業「自然の美味しい手作りに味噌に挑戦」を実施しました。初日は、大釜で大豆を煮て、さらに麴に塩を混ぜて、塩麴を作りました。2日目は、大豆をつぶし、つぶした大豆と塩麴を混ぜ込み、樽に詰めました。今回手作りした味噌は、今年の8月に食べごろになる予定です。



ハーバリウム体験講座を実施しました！

12月5日（土曜日）に公民館講座「ハーバリウム体験講座」を実施しました。円錐と長方形のボトルにプリザーブドフラワーやドライフラワーなどを入れオリジナルハーバリウムを完成させました。クリスマスが近いこともあり、クリスマスイメージしたハーバリウムを作る参加者もいて、楽しんで作成しました。

